

～物部川に感謝する日～
のぞいてみんかえ物部川

日時：平成27年2月22日（日）10:00～15:00

場所：高知工科大学講堂

主催：物部川に感謝する実行委員会、物部川21世紀の森と水の会

共催：高知工科大学、アクア・リプル・ネットワーク

後援：物部川清流保全推進協議会、物部川流域ふるさと交流推進協議会（南国市、香南市、香美市）、南国市教育委員会、香南市教育委員会、香美市教育委員会

内容：

○司会：尾崎美樹、ふぁーまー土居



10:00～10:10 開会挨拶 物部川に感謝する実行委員会 委員長 にいやまさお

- ・物部川の上流には、多くの支川が流れていた。
- ・鏡川と田上川は、大きな湊、「大湊小学校」の地名も残っている。
- ・いわずみ 岩の字がついているところがある。このあたりから川が分かれる。
- ・物部川という名前は、1700年頃に名付けられた。301年になる。毎日の暮らしの飲料水をまかなってきた。
- ・この物部川がしだいに傷つき、水質が悪くなってきた。そこで、今日のようなイベントをして、物部川の現状を理解し、物部川に感謝していただきたいと思う。
- ・戦後、食糧難の時代からしだいに豊かになり、人は都会へと移り、山の管理がされなくなった。また、最近では鹿が増え、獣害により山の保水力が低下し、雨が降ると集中的な豪雨を起し、山崩れがいたるところで起き、濁りが一年中消えないこともあった。
- ・このような状態が無視できない状況。物部川の実情を知っていただき、それぞれの立場で何が出来るか考えていただけると、イベントを実施した立場としてうれしい。
- ・いろいろな方にご協力いただき、お礼申し上げます。また、いろいろな団体から商品景品を提供いただき、お礼申し上げます。

10:10～10:33 「やっぱり大好き物部川コンテスト」表彰式

- ・川柳 922通 絵手紙 247通

○絵手紙

- ・いってきます
ただいまと
交わす笑顔の 田舎道
大事にしたい この景色
- ・自然がスパイス
もしかして 人生最良の日かも
どっさり食べよう



10:33～11:51 「のぞいてみんかえ物部川 ～お話とクイズ～」

10:33～10:38 クイズの進め方の説明

- ・クイズは6問、各1問ごとに、正解者から10名に商品。
- ・大当たりのみ14：10に発表

10:38～10:47 物部川と私の農業

○報告者：高知県指導農業士連絡協議会 副会長 鈴木郁馬（高知県 南国市）

○物部川流域では

- ・シシトウ：全国第1位 冬に出荷されるシシトウは全国の81%のシェア。その半分が物部川流域で栽培されている。
- ・物部川の伏流水で栽培。



○環境保全型農業への取り組み

- ・害虫に対処するために農薬を使うことが主流でしたが、これら害虫を食べてくれる「天敵」を利用 → ヒメカメノコテントウ、スワルスキーカメムシ・・・
- ・ハウスを加温するときの重油を減らし、CO2の排出量を削減。 → 木質バイオマスボイラーによるハウス加温 建築で出てくる端材などを燃料に

○林から農へ、農から林へ

- ・林業から出た木で農業を行い、そこで出来た農作物をみなさんが食してくれることで、また、林業へと循環していける

問1：これは何の仲間？

- ①カメムシの仲間
- ②クモの仲間
- ③アリの仲間
- ④ダニの仲間

Q：農業で苦労されることは？

A：天候に左右されるところが難しい。命を守る仕事だと考えると、どんな仕事も楽しい。

10:47～11:00 山に優しい林業

○報告者：ガイン デニス、ガイン 幸代、ガイン 悟（あーうん）

○林業でどんな道具を使っているか

- ・斧、チェーンソー、ロープ

<世界で使われている林業機械>

○ハーベスタ



- ・「ハーベスト」は「収穫」の意味
40mまでの木、一日に200本の木を処理できる。
- ・ヘッドユニット ホイルにより長さを計測
- ・木の根本を切り、倒し、枝落としをしながら採寸、所定の長さでカット

・しかし、**山での作業だと、斜面の傾斜が急なので機械は使えない。**

○タワーヤーダ

- ・オーストリアから来た機械
- ・グラップルが木をつかむと、ワンタッチでつるしている木がはずれる。高所での作業が不要。

問2：タワーヤーダを使った林業が山の環境に優しいのはどんなところ？

- ①タワーヤーダは木の形に似ているので山の動物が驚かない
- ②地面にさわらないので、土の中の生物が困らない
- ③タワーヤーダはジュースの空き缶からできている
- ④風車をつけて20KWの発電が出来るから

11:00～11:15 漁業部門 細川

- ・シラスバチ網漁
- ・イワシの30日目頃の稚魚を捕っている。まったくの自然の恵み。沖合を流れる黒潮の動向次第 体長3～4cmなので、泳ぐと言うより、潮の流れに漂っている。
- ・毎日多いときには600～700キロとれる。
- ・沖に漁に出るのは年間250日以上。



○漁業者として感じていること

- ・海が変わってきている
- ・山や陸とつながって、良い海が形成されている。いろいろな物が供給されて、良い海になる。
- ・いろいろな生き物がいて、連鎖して成り立っている。プランクトンから始まり、イワシ、食べられるために生まれてくるようなもの。カタクチイワシ、 、 の3種類ある。
- ・1匹のイワシが30万個の卵を生む。卵の頃から食べられる。
- ・会場ロビーには、「南国市の海を守る会」のコーナー ぜひ見てください。

○連鎖がとぎれてきているのでは

- ・昔、その時期に穫れるものがとれない。全く違う時期に穫れたりする。
- ・地球温暖化の影響か？

○一番心配しているのは

- ・海の汚れ 海面に浮いているゴミならまだ拾えるが、**海底に沈下してしまったゴミの回収は難**

しい。

- ・そんなゴミが、海の自然、環境を壊しているのでは。
- ・私たちは海のゴミの掃海作業を始めた。
- ・山はもちろん、海も大事な自然です。海を守っていかないといけない。漁業者が取り組んでいかねばならない。
- ・どうやって掃除をしようかと道具を考えることよりも、みなさんが捨てないことが大事ではないか。
- ・自然のゴミも多いが、人為的なゴミも多い。展示をしてあるので、見ていただいて、考えていただきたい。

問3：バッチ網の操業でおじゃこに混じって揚がってくるゴミで一番多いものは？

- ①ペットボトル
- ②空き缶
- ③レジ袋などのビニール類
- ④流木やヨシ

11:15～11:25 森林をみんなで 救おうリン！ 香長小5年

○森林の働き

- ・土砂害を防ぐ
- ・水をたくわえる
- ・動物のすみかとなる
- ・人々の憩いの場となる
- ・木材資源になる
- ・二酸化炭素を吸い、酸素を出す



○荒れている森林

- ・木を食べ、森を荒らしている鹿
- ・食べ物がなくなって、しかたなく木を食べているのです

○なぜ鹿が増えた？

◇森林を荒らしているのは？

- ・地球温暖化 二酸化炭素が増えすぎて地球の温度が高くなってきている
- ・地球温暖化が進むと 鹿の育ちやすい環境になり、鹿が増える

○森林と人間の関係

- ・二酸化炭素を出す、酸素を出す
- ・大事な助け合い

○森林を守るには

- ①二酸化炭素の排出量を減らすこと
- ②間伐をする
- ③ラス巻きをする
- ④木を利用する 紙を使うなど

○私たちの活動

- ・ さおりが原に行って、稚樹にラスまきをした。
- ・ 大法寺で間伐体験をした。
- ・ 「6年生を送る会」や「のぞいてみんかえ物部川」での発表をした。
- ・ 募金活動をした。
- ・ 1, 2年生を野市憩いの森に連れて行って、森林の楽しさについて教える。

問4:ぼくたちがこれまで学習してきた中で、森林を深刻にさせている一番の原因と考えたのは、

何でしょう。

- ①シカの食害
- ②自然災害
- ③間伐をしないこと
- ④人間の生活

11:25～11:32 環境学習で学んだこと 香美市立片地小学校6年生

○5年生7月

- ・ 日ノ御子での川の学習
- ・ 川の魅力と川の大切さを感じました



○5年2学期

- ・ 森林のおくりもの（国語）
- ・ 森林の恵みなしでは、私たちは生きていけない

○5年11月

- ・ 片地川を上流から河口まで

○5年3学期

- ・ できるエコに挑戦 廃油石鹸づくり

○6年10月

- ・ さおりが原での稚樹保護活動
- ・ 10年前の森の写真を見せていただいた

- ・鹿に食べられないよう、43本にネットを巻き。
- ・「地域の自然を守りたいという強い思いを持つこと」を学んだ。

問5：香長小学校、片地小学校が稚樹の保護活動に取り組んだ物部川上流にある森の名前は何かで

しょうか？

- ①せきが原
- ②さおりが原
- ③かすみが原
- ④なるみが原

11:32～11:51 高知大学農学部 土地保全額研究室 プレゼンス 佐藤たいちろう先生ほか

○物部川といえば濁水

- ・原因は、大雨による山腹崩壊
- ・このとき水田では・・・
濁った川の水が水田に入り、水田から流れ出るときには透明な水になっている。
- ・自然の営みと人間の暮らしを考えるチャンス



○香長（かちょう）平野はどうやって出来た

- ・山から流れ出てきた土砂で平野が形成された。
- ・今は、ダム、砂防ダム、堰、堤防が出来、災害防止、計画的な水利用、安全・安心・安定な暮らし。
- ・濁りはいやだけど、安全・安心・安定な暮らしはしたい

○実験

- ・1000ppm 物部川の濁り水の2倍くらい濁った水
- ・物部川の砂利だけを入れた筒
砂利の間に畑の土を入れた筒 ← より透きとおった水

○田圃に濁水が入っていくと

- ・肥料：窒素、リン、硫黄、亜鉛など、いろいろなものが田圃に供給される ← 肥料となる
- ・客土：農作物を生産するということは、何かかどんどん無くなっていく。
- ・1,800haの田圃
- ・ダムに堆積した泥が長期間に渡って流れるので濁水の長期化。でもダムがなければ洪水が起きる。
- ・農地は使っていけば劣化する → 修復する一つの方法として、「濁水」を田圃に流してあげる
- ・濁水はいろいろなデメリットがあるが、出てきた濁水を使う方法を考えることも。

問6：この濁った水に塩水を入れると、10分後にどうなるでしょうか？

- ①かわらない
- ②かたよる
- ③かたまる
- ④きえる

11:51～11:58 「浅水代かき始めました」 JA南国市 稲作部

○浅水代かきとは

- ・少ない水で田圃を耕す ← 深い水で耕すと、稲ワラなどが浮いてきて、水位を下げるときに、これらが川に流れ出てしまう。
- ・装置の名前 「水田ハロー」
- ・滋賀県、琵琶湖の周辺では大々的に使っている。30年前から行っている。



○ちりもつもれば

- ・「自分だけなら・・・」が集まれば、影響は大きくなります。

○最後に

- ・物部川21世紀の森と水の会の下部組織として活動
- ・浅水代かき 川の水が透き通ることをイメージしながら取り組んでいる。

11:58～13:10 昼食休憩 「食」の部

- ・マイ食器の持参をお願いします。

○無料提供

- ・シカ肉カレー
- ・シカ焼き肉（数量限定）



○販売

- ・シカドッグ、シカバーガー（香美市観光協会）
- ・野菜のかき揚げほか（JA南国市、かぎぐるま市）
- ・コーヒー、お菓子（水土里ネット山田ぜきなでしこ）

13:10～14:00 「楽」の部 ミュージカル「いっしょに生きゆうがよ物部川」

- ・過去・現在・未来。自然と人間の共生とは？ 愛と感動のファンタジーミュージカル

○あらすじ

- ・物部川の今を知った少女「あき」は、50年後の変わり果てた物部川を夢でみてしまう。
- ・物部川を想う青年「アユト」と出会った「あき」を、物部川の主河童「シバテン」が50年前の物部川へといざなう。
- ・そして、50年前の物部川で起きた出来事は、二人を鮎の娘「あかね」と巡り合わせる。
- ・恋に落ちる「アユト」と「あかね」 それを見守る「あゆじい」。
- ・物部川の「未来」と「昔」をつなぐ「今」。彼らは物部川の運命を変えられるだろうか？



14:04～14:32 「のぞいてみんかえ物部川クイズ 正解発表 & 賞品抽選会」

農業 問1：クヒョウタンカスミカメ ①カメムシの仲間

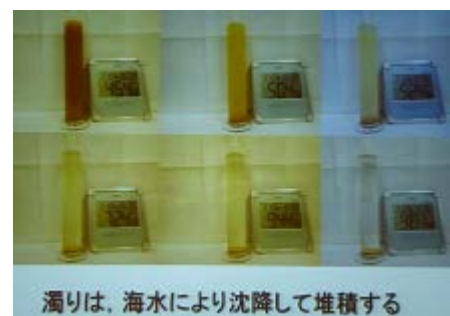
林業 問2：② 森林の土壌はとてもデリケートなビオトープです。山のバランスを整えている。
山の土を踏むと、人が歩いているところは、土が固まり、生き物が死に、なにも生えてこない。

漁業 問3：③レジ袋などのビニール類 捨てないことが一番

問4：④人間の生活 地球の温暖化を進めたのは人間、間伐をしなくなったのも人間

問5：②さおりが原

問6：①かわらない 10分ぐらいではなにも変わらない
秋穂（ナトリウム）があると粘土は固まってフロッグになり、沈んでいき、岩になる。濁水がないと将来石が出来ない。我々は、そんな営みの中で生きている。



濁りは、海水により沈降して堆積する

◇賞品

問1：いも5キロ ながおか温泉五名分

問2：水筒、カップ、鋸、軍手、クジラナイフ フジグラン商品券千円

問3：冷凍アユ、フジグラン商品券、ちりめんじゃこ

問4：南国市の特産品

問5：メロン、ブント

問6：米30キロ

14:32～14:57 3市長の物部川への想い

<ミュージカルの感想から>

○南国市長

- ・ミュージカルを見るのは、最初は高校2年生の時、ウエストサイドストーリーを見て、今日が2回目。感動しました



○香南市長

- ・毎年この会に出席し、頼もしく思った。毎年バージョンアップ。渡辺先生の思いがだいぶん入っていると思う。歌だと心の中にずっと入ってくると思う。「イムジンガン」 ハングル語で「川」が「ガン」 その人の人生で、川は大きな部分を占める。
- ・参加する人が多くなっている。多くの人を巻き込んでいく、それが今日の会の趣旨。
- ・バージョンアップがうれしくもあり、頼もしくもあり。

○香美市長

- ・父が水力発電所に勤めていたので、谷川の近くでずっと暮らしてきて、遊び場は川だった。今回のミュージカルを楽しく見せてもらった。

<いきごみを>

○南国市長

- ・国分川 小学生の頃の夏休みは待ち遠しくて、ご飯を食べると、国分川に行き、真っ黒になるまで川で遊んだ。
- ・小学1年生 欄干からの飛び込み 国分川を横に泳ぎ切ること。
- ・納税をしなくていい、土木工事に従事しなくていい そんなことをしながらごめんの町が出来た 野中兼山(けんざん)の水路があったので、町が出来た。
- ・弥生の時代、中四国で一番大規模な集落があったことが、空港拡張工事の際の文化財調査でわかった。多くの人々が物部川の恵みを受けていたのだろう。
- ・物部川は、いろいろな課題を抱えているが、合同堰も完成した。8億円。水の管理をあずかる農業公社が小水力発電をし、売電した益で様々な活動をしようとしている。
- ・一番海が困っているのはビニール袋ゴミ。山の奥の鹿害対策に、我々も参加するんだ。行政をあずかる我々も、そのような気持ちに負けないよう積極的に関わりを持っていくよう決意した。

○香南市長

- ・昨年の10月にツーディウォーク 二日目が香南市。東京からも参加者が来て、物部川の濁りを見て「1級河川でこれほどにごった川は珍しい」との感想に、恥ずかしかった。

- ・香南市の中で、今日の取組の担当が「地域支援課」。「環境課」「建設課」「農林課」「教育委員会」5つの課が関わりがある。
- ・仁淀川のほうが水質もきれいで、ずっと良いのだ。合併して「仁淀川町」。20何年来の思いで、四万十よりも仁淀に人が来るようになった。
- ・しかし、四万十や仁淀に比べ、物部の知名度はまだまだ低い。いろいろなところで物部を発信することで、より多くの人に関心を持ってもらうことが大事だと思う。
- ・生活、産業、観光、ちょっと関心を持ってほしい。
- ・川の護岸をウォーキングコースで歩いていて、その川が濁っているかどうかは大きく違う。一人一人が出来ることを考える。
- ・**関心を持つこと、一人一人が出来ることを考えることから進めていければ。**

○香美市長

- ・物部川の濁水の状況は大変残念な状況。濁水の問題は必ず良くなっていき、解決できると思っている。
- ・濁水になる前の物部川は、多くのアユが上ってきていた。生活排水を川に流さなくなり、物を捨てる場所であった川からの脱却。濁水が無くなれば、水のきれいな川になる。
- ・**濁水のために、いろいろな方が関わってくれている。**
- ・たくさん的小朋友たちが参加してくれている、このような子供たちの運動が大事。
- ・自然は、このような取り組みには、必ず清流を取り戻してくれる、**行政はしっかりと支援していく。**



司会：3市で頑張ったら変わっていくでしょう。

14:57～15:00 閉会挨拶 物部川21世紀の森と水の会 代表 いわがみあつひこ

- ・雨にも関わらず、これほどの方に参加いただきありがとうございます。
- ・どうですか、良かったでしょう。
- ・小学生 朝の7時から来てくれ、練習もしてくれた。その結果がみなさんに届いていれぱうれしい。
- ・今までは、シンポジウムとか堅苦しい言葉がついていましたが、物部川に関連する自然、人間の水や山との関わり、特定のモノだけでなく、いろいろなことを考えなければならない。
- ・実行委員会事務局 やまだいすず たくさんの方の21世紀の会員 たくさんの方の協力のもと、この企画が無事に終わり、市長から将来に向けての言葉をいただいた。
- ・取っつきやすい企画を考えていきたい。



— 以上 —